

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手に



Vol.43 第2094回例会

2009.10.1

今年度会長テーマ

「誠心誠意、和をもって」 “事にあたらう”

■司会：
石山例会運営委員



■点鐘：杵山会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」



◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：
樺澤パスト会長



◆ゲスト：東村山市立第七中学校
教諭・野球部顧問 梅原重喜様

◆ゲスト：東大和RC
守重勝弘様



■会長報告

杵山会長

麻の文化



麻は深く日本の文化や暮らしと結び付いてきました。繊維は神主の衣装、鼻緒心、漁網、畳糸などに使われました。伊勢神宮の神札の紙にも混ざっています。おがらは、お盆の迎え火に使っています。中央アジア原産で、渡来後は古代から重要な繊維作物とされ、明治時代には2万5000ヘクタールもあったとされるが、2006年の栽培面積は6.5ヘクタールが栃木県、細々と岩手、福島県の両県でも栽培される。栃木県の主な産地は鹿沼市で、今は麻ひきという夏に刈られた茎から繊維を取る作業の真っ最中です。乾燥させて出荷する10月中旬まで続くといいます。繊維は静岡に出荷されて弓の弦になります。おがらは京都に送られます。化学繊維の普及ですっかり栽培が減ったが、消費拡大に向け新たに紙製品を開発した若い農業者もいます。栽培免許が与えられているのは全国で60人だが、違法栽培の多さはどうだろう。嫌な事に相撲界、芸能界、学生にと大麻汚染が広がっています。マンションのベランダ栽培、押入れを改造した植物工場、山間に大きなハウスで栽培した大胆な事件もありました。しめ縄は神聖な場所を示すしるしだが、起源は麻で横綱のそれにも使われます。日本相撲協会は近く薬物講演会を開くというが、情けなくてきっと麻は泣いていることでしょう。

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／中丸 繁男 野村 高章

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

■ 幹事報告

高橋幹事



■ 例会変更について：

10/8(木)定款第5条第1節Cにより休会
→通常例会に変更

■ ローターリー財団寄付金のレート変更：

→10/1より 90円=1ドル

■ F R C 合同例会：

10/27(火) 立川グランドホテル
ホストクラブ 東京東大和 R C
10/22の例会は F R C 合同例会へ振替

■ 例会変更：

所沢中央ロータリークラブ
10/5 ガバナー公式訪問
10/12 法定休日より例会取消
10/26 振替休会
10・24、25 所沢市民フェスティバル参加
11/16 振替休会(11/14 会員旅行により)
11/23 法定休日により例会取消

■ 回覧：

「友」インターネット速報
武蔵野女子学院 Newsletter

■ 事務局員 菱沼さんの入院状況：

今週中に退院予定、その後自宅療養少しでも早く事務所に出たいとの希望です。その間臨時事務局員を置くことが昨日の理事会で決定いたしました。

■ 出席報告

吉川例会運営委員



在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
38	26	1	8	76.47

■ 前々回メイクアップ修正後前々会欠席：2名

■ 前々回出席率メイクアップ修正後：94.12%

■ ニコニコBOX

高橋クラブ管理委員

■ ご結婚祝月：

日時会員、町田会員



■ 会員誕生祝月：

樺澤会員、野村会員
相羽会員、吉川会員



■ 令夫人誕生祝月：

日時会員、野崎会員



◆田中会員：昨日の東村山市ゴルフ大会、ゴルフ連盟の五十嵐会長、野澤先生お疲れ様でした。今月19日分区のゴルフ大会選手の皆様、よろしくお祈りします。

◆杵山会長、高橋幹事：東村山市立第七中学校、教諭・野球部顧問梅原重喜様、東大和 R C 守重勝弘様、本日ようこそお越し下さいました。よろしくお祈り致します。

◆当麻会員：守重様ようこそいらっしゃいました。

◆戸澤会員：守重様ようこそおいで頂きました。

◆守重様：しばらく振りに伺いました。いつもお世話になっておりありがとうございます。

◆野澤会員：守重さんようこそ。地区青少年交換では大変お世話になりました。

本日のニコニコ合計： 41,000円
累 計： 440,000円

■委員長報告

■當間社会奉仕委員長



11月の産業祭に昨年同様杵山会長、戸澤・木下両会員に協力していただき出し、イベントに華を添えたいと思います。また前回評判の良かった北海道産の昆布も日時会員に手配できないかお願いしております。何分11月は5日にガバナー公式訪問を控えイベントが数多くありますので会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。来週出欠表を回させていただきます。

■中丸クラブ管理委員長



11月20～22日の沖縄親睦旅行について、東村山から羽田空港までの往復にバスを用意させていただきます。参加者の最終確認時にバス利用等を確認しますので宜しくお願いいたします。

■當麻国際奉仕委員長



一昨日在京クラブによるロータリー情報委員会が日本橋クラブで開催されました。在京全クラブ65名が集まり、戸田一誠パストガバナーのセミナーとその後テーブルセッションを行いました。武蔵野分区・多摩分区のまとめとして私がロータリー情報委員会の役割ということで発表致しました。次に研修委員会の予定を発表いたします。杵山会長の方針に基づいて1月のロータリー理解推進月間にちなみ、1月28日のインシエーションスピーチを卓話に変更いたします。次に3月18日に会議、4月15日の夜に炉辺会合を実施した後打上げにしたいと思います。宜しくお願いいたします。

■卓話

■卓話者紹介： 小町青少年奉仕委員長



■卓話者： 市立第七中学校教諭 梅原重喜様



皆さんこんにちは。34年間美術科の教師として教職に従事して今年定年を迎える梅原です。ロータリーの皆様には色々とお世話になっています。野球部顧問として3年前西武ドームでRC杯を開催していただいた時は、生徒のみならず私も感激しました。お蔭様で7中が優勝でき、当時のピッチャーはいま日大鶴が丘へ進学しベンチ入りしています。その彼もあのドームのことは大きな思い出になっていますし、また出来たらと思います。但し最近色々な大会が増え予定が詰まっているのと財政的な面もあり、今年はRC杯が開催出来ませんでした。

今日は部活動を通して今の中学生を率直にお話したいと思います。私は30年くらい前、中野の中学で顧問の先生が辞められ、代わりに私が顧問になり野球に関わり始めました。当時近くにある明大中野中が強く、何とか勝ってやろうという生来の負けん気が出て野球にはまってしまいました。6年前ある人からの誘いで東村山市立7中に着任しました。この中学は先生方も熱心で生徒もすくすくと育っている良い学校で、ここで定年を迎えられて嬉しく思います。

私は時代が変わってくると色々なことが変わってくるが、変わらないものは変わらないという信念で子供たちと付き合っています。昨日教育長・教育委員会との研修会があり、文部省の新指導要領の最初に「生きる力の育成」が最初にうたっています。難しい世の中になってきている中で、子供たちも変わってきています。生きていく逞しさに疑問を感じるような子供もいて、日本の将来は暗いと感じる時もあるがまた反面逞しく感じる様な時もある。どんな時か、それは部活をやっている時に逞しく感じます。生きる力は私の担当の美術や英語や数学という知識ではなく、部活動で逞しく育っていることを実感しています。

私の記憶の中で真っ先に思い出させる生徒がいます。中野7中にいたころです。入学式に黒い野球帽をかぶっている生徒がいました。この生徒は教室の中でも、何をするときでもいつでもどこでも帽子をかぶっていました。おかしい生徒だなど思っていたら、先生方の話で実は無毛症という病気で全身の体毛が生えてこないということが解りました。小学校から常に

帽子をかぶり、入学式でも教室でも下を向きっぱなしでした。名前を呼ばれても小さな声で「はい」と答えるのがやっとなの子でした。その生徒が野球部に入ってきました。やっていけるかなと思いました。色々な面で目立ってしまいますが、でも部活は一生懸命やっていました。部活の中で話を聞いてみるとうまく自分を表現できないということが解りました。本人に帽子を取れとは言えず、他の先生方も「あの子は帽子を取れないし、とらす必要もないよ」ということでした。でも私はやっぱりその生徒に自分に自信を持たす為には、帽子を取らせなければいけないと考え絶対帽子を取らせて見せると思いました。でも帽子を取ることはありませんでした。

1年生は球拾い程度ですからそのまま様子を見ました。2年生になって試合に仲間も出られるようになって来ました。試合では整列し礼を試合前にしますがその生徒にはお前は帽子を取って礼が出来ないから並ばなくて良いとあえて言いました。礼が出来なければ並べないからベンチにいていいよとベンチに居させました。お前試合に出たいだろと聞くと「はい出たいです」と答えるのですが帽子を取る話になると固く心を閉ざしました。私は何度も話しました。人にはハンデが皆あるお前には髪がハンデだが他の友達だって皆他人には解らないハンデがあるかもしれない。お前が自分をさらけ出さないと皆もお前を特別視するよ、そのままでもいいの？大人になってもそのまま行くよと色々話しましたがその生徒には自分なりの悩みや考えがありなかなか解りあえませんでした。

ある時試合の日に、今日はお前を出す並べと言ったところ「え？」という顔をしていました。試合が始まる前に整列し審判が礼と言ったところ全員が帽子を取った時、その生徒は帽子を取りませんでしたので私は思わず怒鳴りそうになった瞬間、一瞬自分でもびっくりしたように帽子を取りました。ベンチに戻ってきて私の前で皆帽子を取っているのですが彼は帽子をかぶろうとするのでそのままの言いしました。これがきっかけとなり彼は帽子を取ることが次第に出来るようになって来ました。何と3年生になると帽子をかぶらずに学校に来るようになり、帽子をかぶる必要があるような時にもかぶらずにいました。

3年生になるとレギュラーになり、高校野球でもレギュラーで4番を打ち、大学に入ってからアメリカンフットボールをやっていました。時々私の所へ遊びに来ますが心身とも本当に立派になりました。この子に代表されるように自分で自分を勇気を持って変えて行くということは、きっかけさえ与えてやれば又こちらが粘り強くやれば出来るのだと感じました。今想うと真っ先に思い出されるのが今話した生徒のことです。他にも本当に色々な生徒がいました色々な経験をしましたが、皆色々な思いを抱えています。がこちらの付き合い方・指導の仕方では子供は変わってゆくと感じています。

私は野球を通じて多くの子供たちと付き合い合ってきたわけですが、甲子園にも何人も行っています。プロの選手になった子もいます。でもそういう子たちよりうまく野球が出来なかった子、ずっと試合に出られなかった子たちのほうが私にとっては気になる存在で、卒業後はどうしたのだろうか。中学時代はどんな想いでいたのだろうか。と気になりました。

ある生徒から記憶に残る手紙をもらいました。要

約するとその内容は「残念ながらレギュラー選手ではない自分が野球部で何が出来るか？自分は仲間が気持ちよくプレーできるように何が出来るかを考え実践して来ました。試合にはあまり出られませんでした。が僕はこの学校で野球ができたことに誇りを感じている。そして先生にはとても感謝している」というようなことを書いています。レギュラーになれなくても頑張るといふことに私も救われたような感じ。私が子供たちを指導しているというよりむしろ教えられているという感じが率直なところ。です。

私は部活動を通じて目標をしっかりと持って努力する大切さを教えています。達成できたときの気持ち大切に、そしてそれが自信につながる。しかし世の中、不条理な事も数多くあり努力が必ず報われるとは限りません。強者には強者の論理があり、弱者には弱者の論理があります。人間として成長するにはそのどちらも理解できなければバランスの取れた大人にはなれません。そういうことを子供たちに言っています。

チームや組織は役割分担して共有している。自分一人で行っているのではない、皆他人に支えられている事を教えています。そして野球の出来る幸せを感じなさいと言っています。世界にはやりたくてもやれない貧しい人々が沢山いることを感じなさいとおしえています。

今の子供たちは自分をうまく表現できない子が多く教えるのも大変です。私は今年定年を迎えますが、これからまだまだもう少し教育の場に身を置いて少しでもお役に立てればと思っています。

ご清聴有難うございました。

■第4回(10月度)理事・役員会

- ①産業際について→例年通り参加。
詳細は當間社会奉仕委員長に一任
- ②宜野湾RC合同例会及び親睦旅行について
羽田空港までの往復交通手段について
バスを用意する事が決定
- ③その他
 - 1) 例会変更について
10/8(木) 休会→通常例会に変更
2010年5月6日(木) 休会に変更
(印刷ミスによる日付訂正について)
 - 2) 事務局の臨時応援事務代行について
臨時事務員を置く事を決定

■点鐘：杵山会長